

令和5(2023)年度 病害虫発生予報 第8号

令和5(2023)年11月17日
栃木県農業環境指導センター

病害虫の早期発見に努め、適切に防除しましょう！

予想期間 11月下旬～12月下旬 予報の根拠で、(+)は増加要因、(-)は減少要因を表す。

1 いちご うどんこ病

- (1) 発生予想 発生量：少ない
- (2) 根 拠
- 現在の発生量は少ない(ほ場率：平年比0%、株率：平年比0%)。(－)
 - 向こう1か月の降水量は少なく、日照時間は多いでしょう。(－)
- (3) 対 策
- 株が軟弱徒長すると発生しやすくなるので、適正な温度管理やかん水を行う。
 - 予防を主体に、フルピカフロアブル(RACコード F:9)等を葉裏にもよくかかるように散布する。
 - 曇雨天時にはくん煙剤を使用するが、硫黄くん煙は天敵に対し悪影響があるので天敵導入ほ場では長時間のくん煙処理は避ける。

2 いちご ハダニ類

- (1) 発生予想 発生量：やや少ない
- (2) 根 拠
- 現在の発生量は少ない(ほ場率：平年比18%、株率：平年比9%)。(－)
 - 向こう1か月の気温は高く、日照時間は多いでしょう。(＋)
- (3) 対 策
- ほ場をこまめに観察し、増殖する前に防除を行う。
 - 化学農薬に対する感受性低下が起りやすいため、RACコードの異なる薬剤をローテーション散布する。
 - 天敵導入時にハダニ類が多いと失敗しやすいので、天敵導入前に気門封鎖剤や天敵に影響の小さい薬剤を散布し、ハダニ類の増殖を抑制しておく。
- (4) 備 考
- [ナミハダニ薬剤感受性検定結果](#)を当センターホームページ(HP)に掲載中。

3 トマト 葉かび病・すすかび病

- (1) 発生予想 発生量：やや少ない
- (2) 根 拠
- 葉かび病の現在の発生量は平年並(ほ場率：平年比130%、葉率：平年比50%)。(±)
 - すすかび病の現在の発生量は平年並(ほ場率：平年比126%、葉率：平年比108%)。(±)
 - 向こう1か月の気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多いでしょう。(－)
- (3) 対 策
- 施設内が多湿にならないように換気やかん水に注意する。また、循環扇や暖房機等を用いた通風により、結露防止に努める。
 - 発病葉は伝染源となるため、発生初期に速やかに取り除き、施設外で処分する。
 - 予防を主体にベルコートフロアブル(F:M07)等を葉裏にもよくかかるように散布する。
- (4) 備 考
- [葉かび病薬剤感受性検定結果](#)、[すすかび病薬剤感受性検定結果](#)を当センターHPに掲載中。

4 トマト 黄化葉巻病(TYLCV)(タバココナジラミが媒介)

- (1) 発生予想 発生量：多い
- (2) 根 拠
- 現在の発生量は多い(ほ場率：平年比252%、株率：平年比500%)。(＋)
 - 向こう1か月の気温は高く、日照時間は多いでしょう。(±)
- (3) 対 策
- ウイルスを媒介するタバココナジラミの侵入を防ぐため、ハウスの開口部(出入り口、側窓、天窗)に0.4mm目合以下のネットを張り、特に出入り口は二重にする。
 - 黄色粘着板の設置によりコナジラミが見られた時はディアナSC(I:5)等を散布する。
 - 発病株は伝染源となるので、見つけ次第抜き取る。抜き取った株は放置せず、土中に埋設するか、ポリ袋などで密封し枯死させてから処分する。
 - 耐病性品種であっても、本病に感染すると伝染源となるため、感受性品種と同様に適正な防除をする。
- (4) 備 考
- [防除のポイントNo22](#)、[タバココナジラミ薬剤感受性検定結果](#)を当センターHPに掲載中。

5 きゅうり ベト病

- (1) 発生予想 発生量：やや少ない
- (2) 根 拠
- 現在の発生量は平年並(ほ場率：平年比134%、葉率：平年比135%)。(±)
 - 向こう1か月の気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多いでしょう。(－)

- (3) 対策 ・ 施設内が多湿にならないよう適切な換気を行うとともにかん水量に注意する。
 ・ 草勢低下は発生を助長させるので、適正な肥培管理を行う。
 ・ 予防を主体にランマンフロアブル(F:21)等を散布する。
- (4) 備考 ・ [べと病薬剤感受性検定結果](#)を当センターHPに掲載中。

6 きゅうり コナジラミ類 (退緑黄化病 (CCYV))

- (1) 発生予想 発生量：多い
- (2) 根 拠 ・ 現在の発生量は多い (ほ場率：平年比 215%、株率：平年比 695%)。(+)
 ・ 向こう1か月の気温は高く、日照時間は多いでしょう。(+)
- (3) 対策 ・ 高密度になると防除が困難になるので、ほ場内に黄色粘着板を設置する等、早期発見・早期防除を行う。
 ・ 化学農薬に対する感受性低下が起りやすいため、RAC コードの異なる薬剤をローテーション散布する。
 ・ 施設内外を除草するとともに、ハウスの開口部に0.4mm目合以下のネットを張る等の耕種的防除を徹底する。
- (4) 備考 ・ タバココナジラミは退緑黄化病(CCYV)を媒介する。[タバココナジラミ薬剤感受性検定結果](#)を当センターHPに掲載中。

7 にら アザミウマ類

- (1) 発生予想 発生量：やや多い
- (2) 根 拠 ・ 現在の発生量はやや多い (ほ場率：平年比 147%、株率：平年比 73%)。(+)
 ・ 向こう1か月の気温は高く、日照時間は多いでしょう。(±)
- (3) 対策 ・ 雑草はアザミウマ類の増殖源となるので、ハウス内外の除草を行う。
 ・ 早期発見に努め、密度が低い時点でスピノエース顆粒水和剤(I:5)等を散布する。

8 その他の病害虫

| 作物名 | 病害虫名 | 現況 | 発生予想 | 作物名 | 病害虫名 | 現況 | 発生予想 |
|-----|--------|-----|------|-----|-------|-----|------|
| いちご | 灰色かび病 | 少 | 少 | トマト | 灰色かび病 | 少 | 少 |
| | アブラムシ類 | やや少 | 平年並 | にら | 白斑葉枯病 | 少 | 少 |
| | コナジラミ類 | やや少 | 平年並 | きく | ハダニ類 | やや少 | 平年並 |

秋の病害虫防除対策

○イネ 縞葉枯病

- 縞葉枯病が発生したほ場の再生稲(ひこばえ)は、媒介虫のヒメトビウンカの生息場所と縞葉枯ウイルスの獲得源になります。早めに丁寧な耕起を行いましょう。

○トマト・なす等 トマトキバガ

- 外来害虫である本種の国内における確認報告が相次いでおり、11月15日現在、37道府県で発生が確認されています。栃木県での発生は確認されていませんが、飛翔による分散や苗類等を介して、本県での発生が懸念されます。発生が疑われる場合は、お近くの農業振興事務所もしくは農業環境指導センターへ御連絡ください。
- [「トマトキバガに注意！」](#)を当センターHPに掲載中です。

○果樹の整枝・せん定作業時には、罹病枝除去に留意しましょう。

○薬剤防除では、RACコードの異なる薬剤をローテーション散布しましょう。

○令和5年11月から令和6年1月まで、「栃木県農業危害防止運動」を実施中です。

農薬は適正に管理し、容器のラベルをよく読み、農薬による事故等の発生を防止しましょう。

1か月気象予報 (予報期間11月18日から12月17日 11月16日 気象庁発表)

- 向こう1か月の気温は、寒気の影響を受けにくいと高いでしょう。
- 高気圧に覆われやすいため、向こう1か月の降水量は少なく、日照時間は多いでしょう。

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)

| 項目 | 低い (少ない) | 平年並 | 高い (多い) |
|------|----------|-----|---------|
| 気温 | 10 | 40 | 50 |
| 降水量 | 50 | 30 | 20 |
| 日照時間 | 20 | 30 | 50 |

詳しくは農業環境指導センター（Tel 028-626-3086）までお問合せください。

病害虫情報発表のお知らせはX（旧ツイッター）「栃木県農政部(@tochigi_nousei)」、農業環境指導センターホームページ (<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/index.html>) でもご覧になれます。



NOUGYO_KSC_TOCHIGI

Instagram 農作物病害虫図鑑@とちぎ

センター所蔵の病害虫画像をInstagram上で公開しています。

主要病害虫から珍しい種まで、定期的に更新中！

#栃木県#病害虫図鑑 検索&フォローよろしくお願いします！